

台風第14号 説明会



この資料は、9月16日9時の予想資料を用いた説明会資料です。最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

令和4年9月16日
高知地方気象台

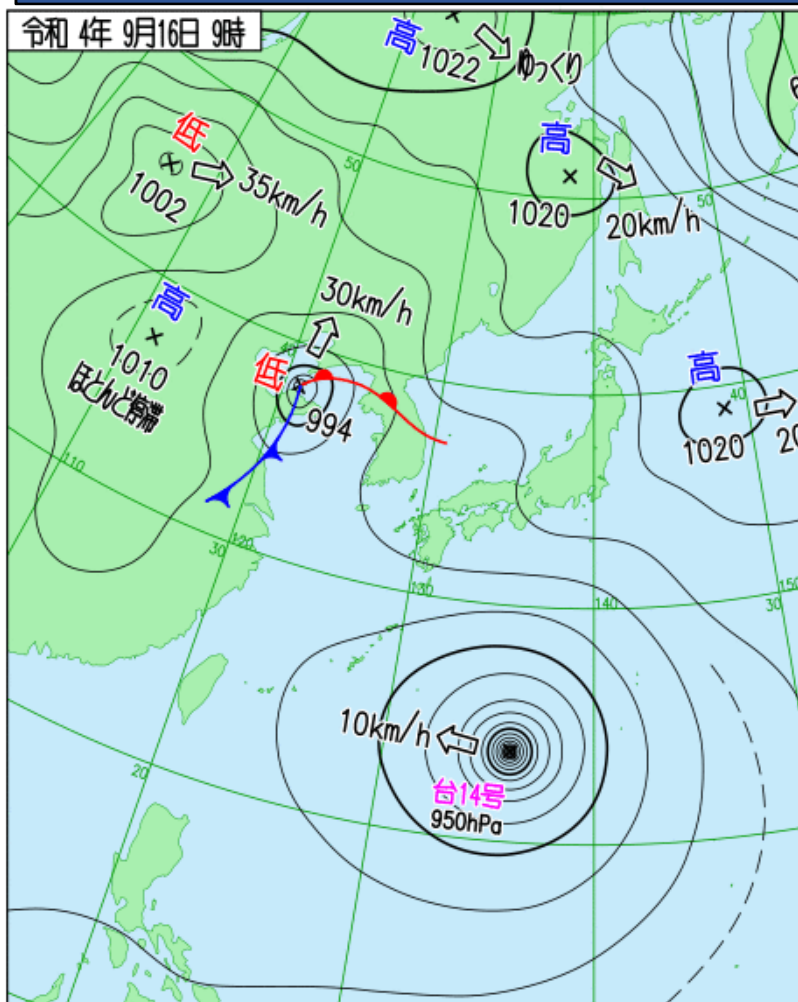
高知県への影響 (16日11時現在)

- ✓ 19日頃に、高知県に最も接近し、**暴風**となる可能性がある
- ✓ 17日は大しけとなり、18日から19日にかけて**猛烈なし**
けとなる
- ✓ 18日から19日にかけて、台風本体や台風周辺の発達した雨雲の影響で、**広い範囲で大雨**となる見込み
- ✓ 台風の動きが遅くなる可能性があり、風、波の影響が長引き、**雨量がさらに増える**

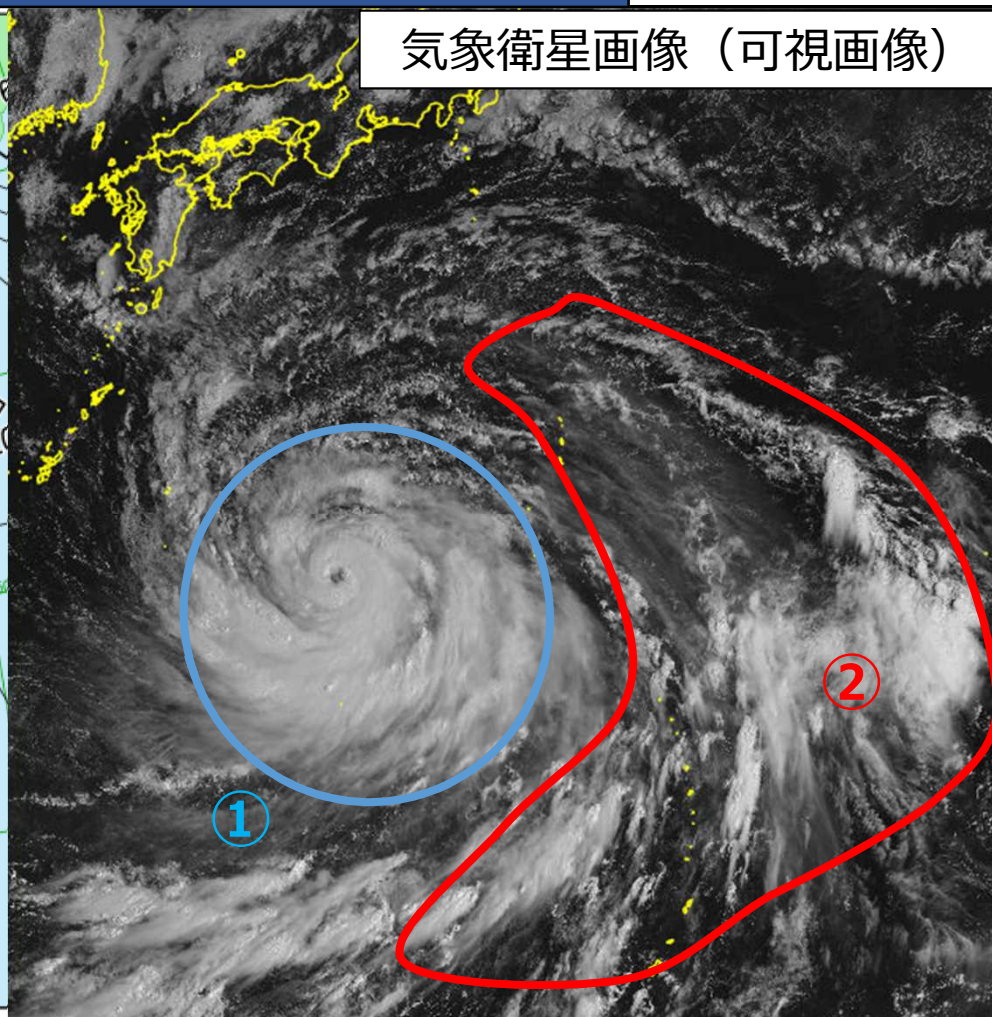
- ✓ **うねりを伴った高波に厳重に警戒**
- ✓ **土砂災害、浸水害、河川の増水や氾濫、暴風に警戒**

地上天気図と気象衛星画像

16日09時現在



気象衛星画像（可視画像）



- ① 台風第14号の雲域
- ② 台風本体の東側に広がる雲域



台風第14号の進路予想

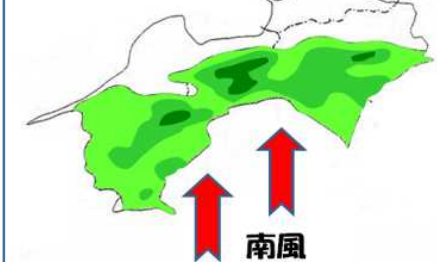
16日09時現在

降水分布のイメージ

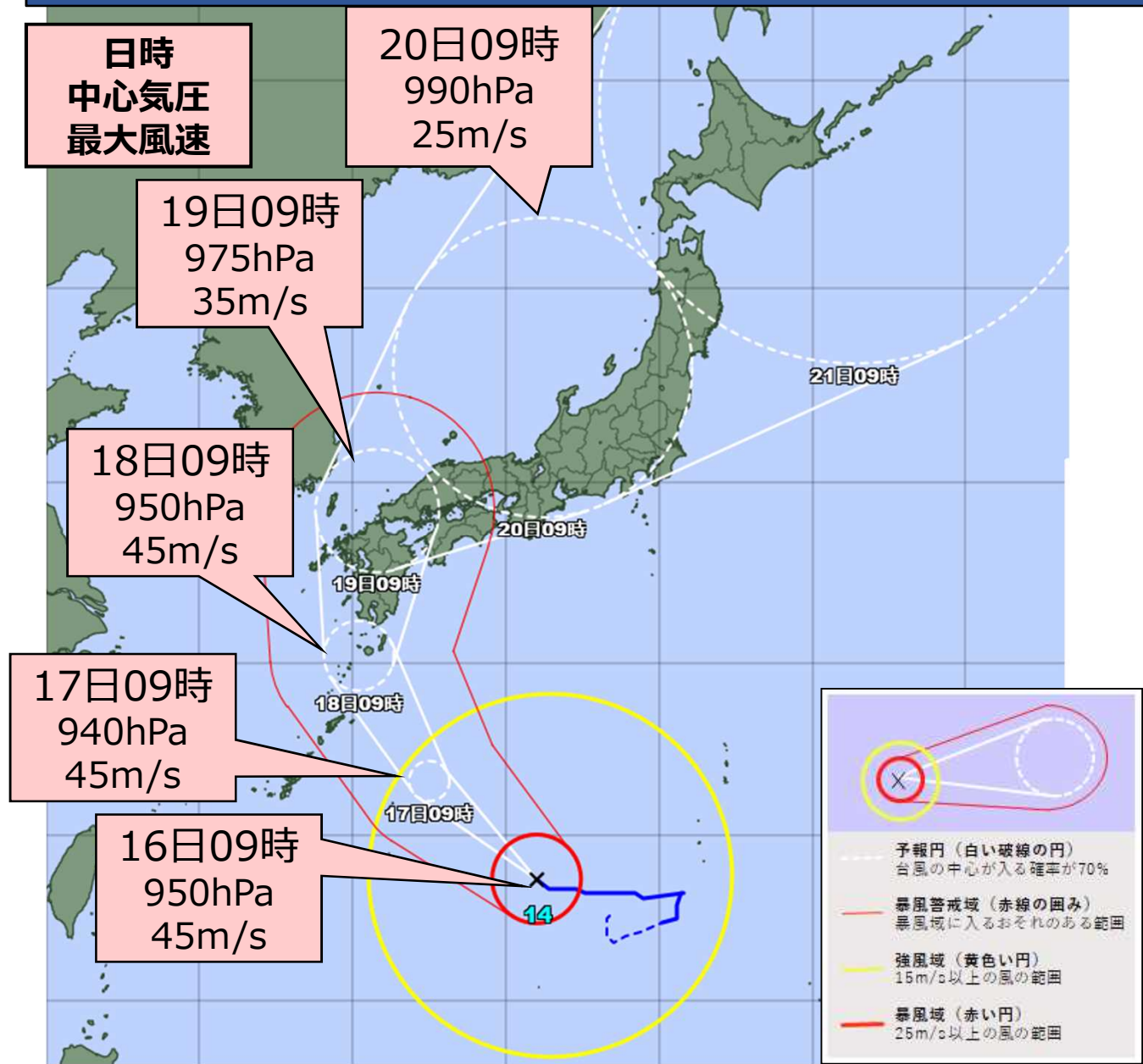
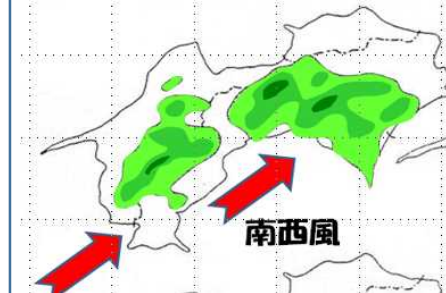
18日頃



18~19日頃



19日頃



【早期注意情報（警報級の可能性）】

高知県	種別	警報級の可能性				
		16日		17日	18日	19日
		夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く		
		12-18	18-06	06-24		
中部	大雨				■	■
	暴風				■	■
	波浪			■	■	■
東部	大雨				■	■
	暴風				■	■
	波浪			■	■	■
西部	大雨			■	■	■
	暴風				■	■
	波浪		■	■	■	■

■ 早期注意情報（警報級の可能性） [高]

■ 早期注意情報（警報級の可能性） [中]

16日11時現在

台風第14号 防災シナリオ

		17日								18日				19日	
		0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時	
		未明	明け方★	朝	昼前	昼過ぎ	夕方★	夜の はじめ頃	夜遅く	★		★		★	
台風最接近															
大雨(浸水) (ミリ)	西部	20	30	30	30	50	50	40	40	★					
	中部	10		30	30	30	30	30	30						
	東部	20	30	30	30	50	50	40	40						
大雨(土砂)	西部						★	注	★	★					
	中部								★						
	東部								★						
洪水	西部									★					
	中部														
	東部														
風 (メートル)	西部	陸上				12 ←	12 ←	12 ←	13 ←	13 ←	★				
		海上	★			15 ←	15 ←	15 ←	18 ←	18 ←					
	中部	陸上				★		12 ←	12 ←	12 ←	★				
		海上						15 ←	15 ←	15 ←					
	東部	陸上	★			12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	★				
		海上				15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←					
波浪 (メートル)	西部	★ 5	5	6	6	6	7	8	8	★					
	中部	4	5	5	5	6	6	6	7						
	東部	4	5	5	★ 5	6	6	6	7						
雷	全域		注	注	注	注	注	注	注	★ 竜巻などの激しい突風					
高潮 (メートル)	西部	0.7								★					
	中部	0.5													
	東部	0.6													

洪水警報を発表する可能性があります

16日11時現在

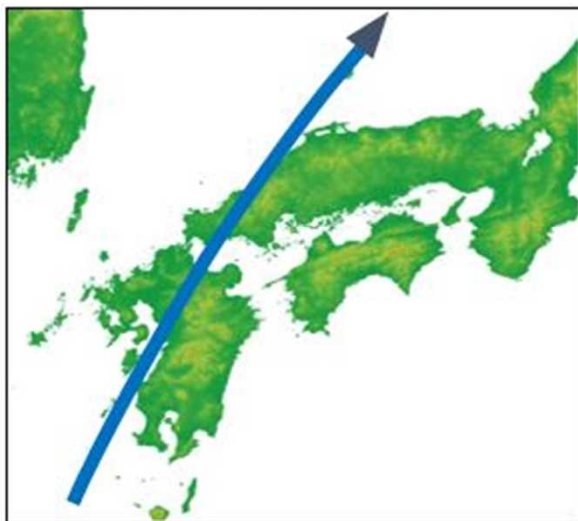


雨の予想

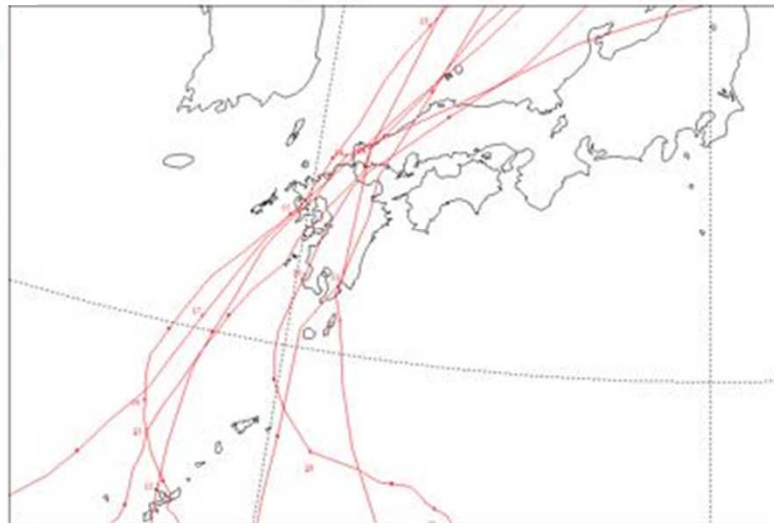
- 16日12時から17日12時までの24時間降水量 (多い所)
中部60ミリ 東部80ミリ 西部100ミリ
- 17日12時から18日12時までの24時間降水量 (多い所)
全域 200~300ミリ
その後、雨量はさらに増える見込みです。

【参考資料】

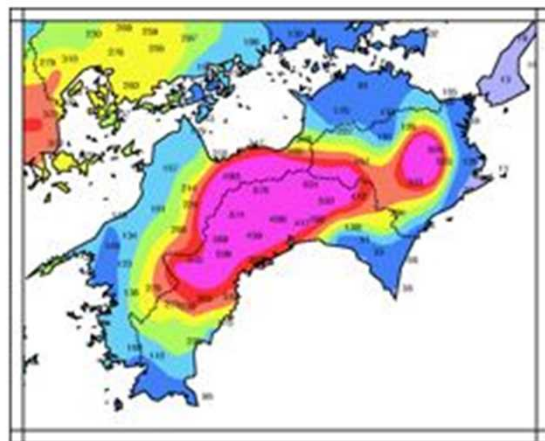
九州から中国地方を通過するコース



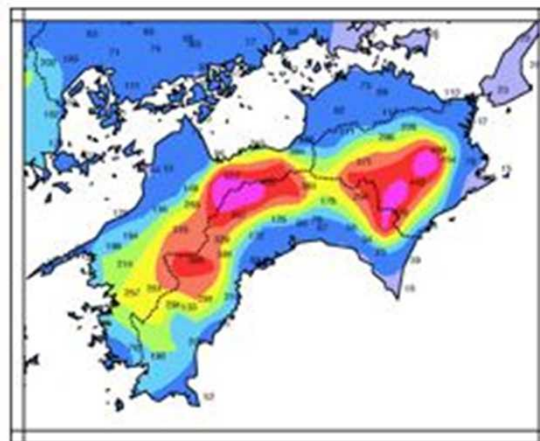
台風経路図



台風第5号 (1993年)



台風第16号 (2004年)



高知県への影響 (16日11時現在) 【再掲】

- ✓ 19日頃に、高知県に最も接近し、**暴風**となる可能性がある
- ✓ 17日は大しけとなり、18日から19日にかけて**猛烈なし**
けとなる
- ✓ 18日から19日にかけて、台風本体や台風周辺の発達した雨雲の影響で、**広い範囲で大雨**となる見込み
- ✓ 台風の動きが遅くなる可能性があり、風、波の影響が長引き、**雨量がさらに増える**

- ✓ **うねりを伴った高波に厳重に警戒**
- ✓ **土砂災害、浸水害、河川の増水や氾濫、暴風に警戒**

台風の接近や大雨に備えて

- ✓ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予めハザードマップ等で確認し、台風が近づく前に**早め早めの安全確保**をお願いします。
- ✓ 海岸や増水した河川・用水路なども含め、**危険な場所には絶対に近づかない**ようお願いします。
- ✓ 気象台が発表する**警報・注意報など防災気象情報**に留意するとともに、**市町村の避難情報**に注意してください。
- ✓ 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください

台風情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

気象警報・注意報・土砂災害警戒情報

https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#lang=ja&area_type=offices&area_code=390000

指定河川洪水予報

https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=390000

キキクル（危険度分布）

https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=390000&pattern=rain_level



気象情報

https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=390000&format=table

その他の情報は、気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

風の強さ

参考資料

平均風速 (m/s)	およその 時速	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
10以上 15未満	~50km	やや強い 風	一般道路 の自動車	風に向って歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15以上 20未満	~70km	強い風		風に向って歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
20以上 25未満	~90km	非常に強い 風	高速道路 の自動車	何かにつかまってい ないと立ってられない。 飛来物によって負傷 するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常 の速度で 運転する のが困 難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
25以上 30未満	~110km						固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
30以上 35未満	~125km	猛烈な風	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	40
35以上 40未満	~140km						住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	
40以上	140km~						60	

雨の強さ

参考資料

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようなになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

高潮の要因

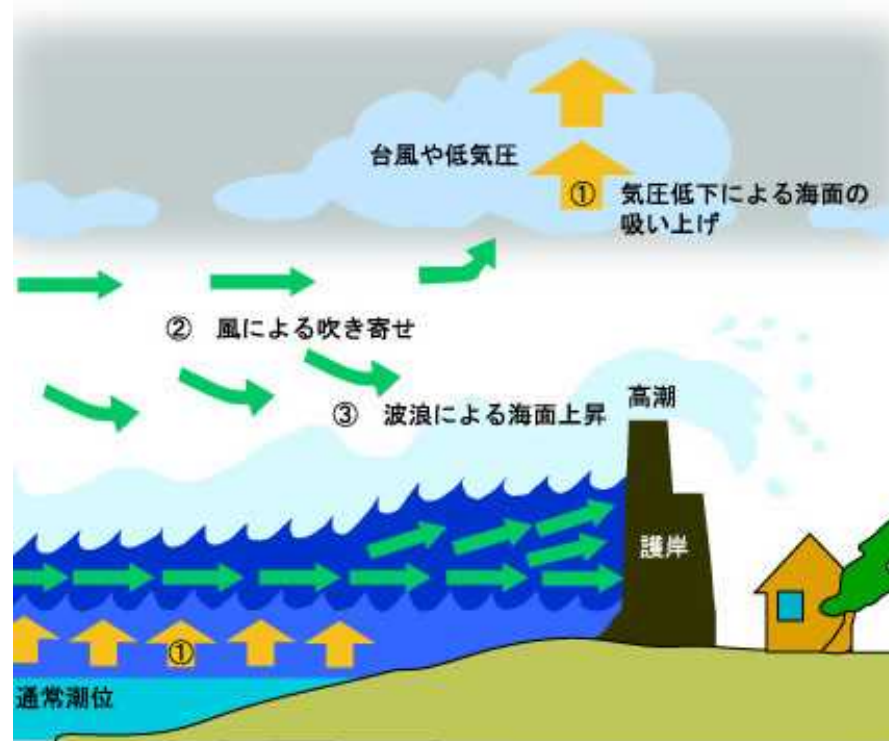
参考資料

台風による

- ①気圧低下により海面の上昇
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



防災気象情報に用いる時間細分の用語

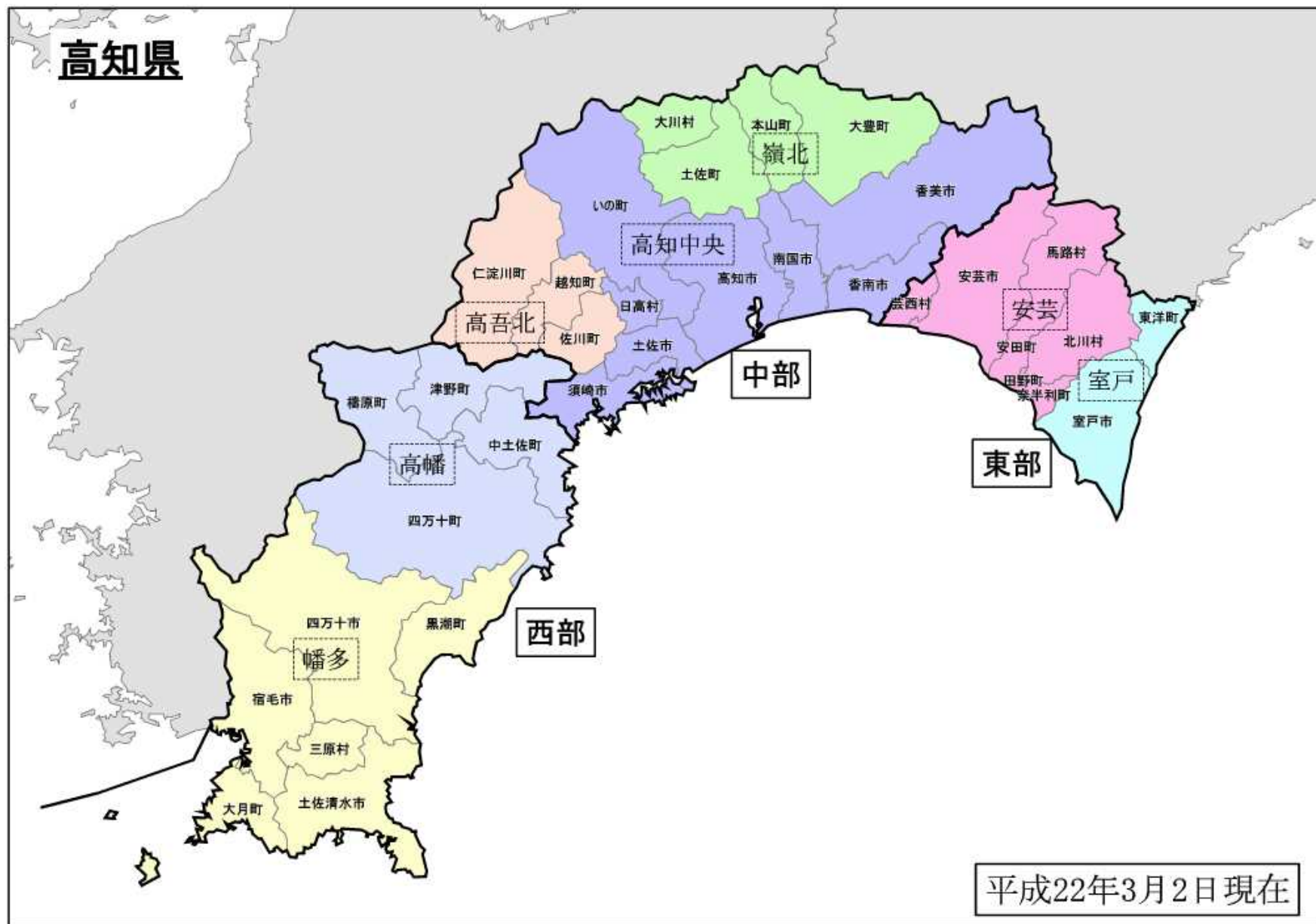
参考資料

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	夜
21:00～24:00	夜遅く		

高知県

参考資料

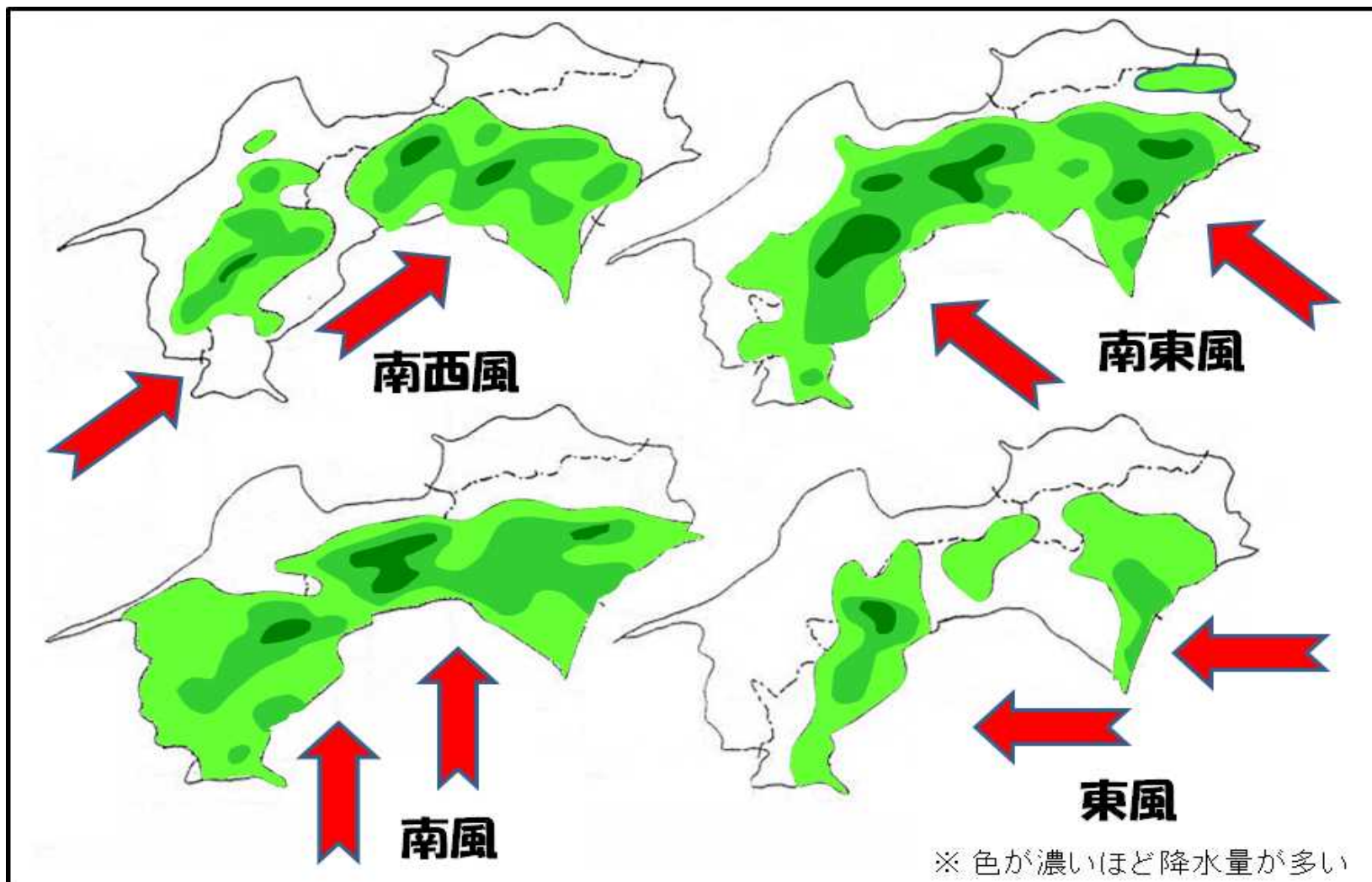


平成22年3月2日現在

高知県の地域特性

参考資料

上空1000m風向別の降雨特性

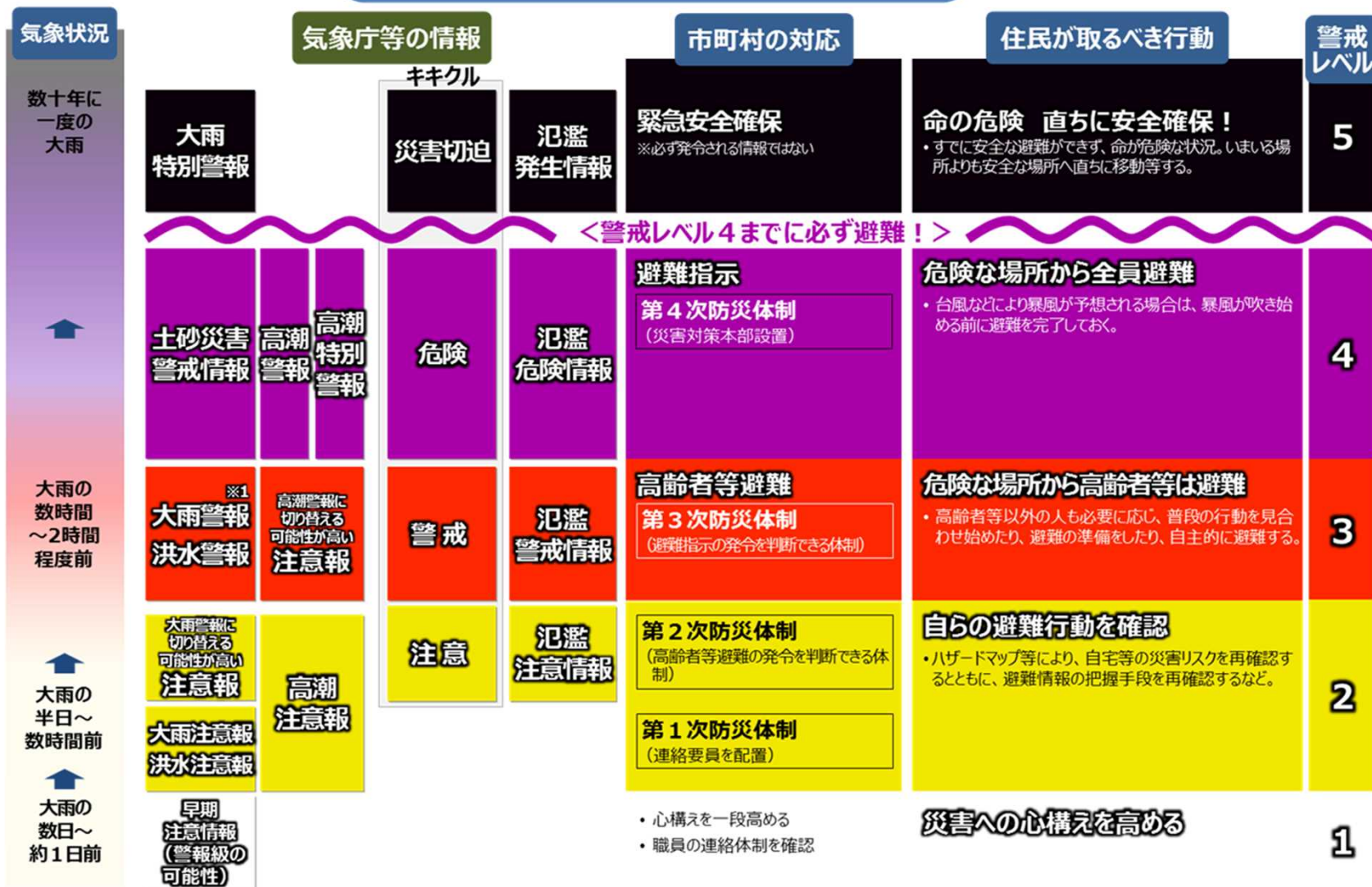


太平洋から多量の水蒸気をもたらす南よりの風で、山間部の地域ではまとまった雨となる。

警戒レベル相当情報 ~防災気象情報と警戒レベル~

参考資料

5段階の警戒レベルと防災気象情報



※1 夜間~翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成